

みつばちプロジェクトのお手伝いをしています

名古屋市の笠寺という門前町でミツバチを飼い、ハチミツをつくて販売する、そこからまちづくりをしていこうという団体のお手伝いをすることになりました。

☆ミツバチでまちづくり

ミツバチは農薬に触れたり、かかったりすると方向感覚がなくなってしまい巣にもどれなくなってしまうたり、自分に農薬がかかっていることに気づくと、他のミツバチたちに農薬をふれさせないために巣に入らず、そのまま死んでしまうのだそうです。近年、ミツバチが減っているのは、このためだと言われています。

はちみつが取れるまちは、農薬がないということであり、人間の生命にも関連してきます。このようなまちにしていくためには、住民の協力が欠かせないということで、コミュニティのコミュニケーション向上、まちづくりを目標にしてミツバチを飼い、ハチミツを作っています。



☆小学校1年生と高齢者の方にワークショップ

笠寺地区にある小学校の放課後、1年生を対象に全3回(2回済)のワークショップを行っています。第1回は8月の夏休み、第2回を11月に行いました。「夏の事なんて覚えてないだろう」と思っていたのですが、内容を覚えている子どもたちがたくさんいて驚きました。クイズをしていると、「あ、これって〇〇でしょう？夏に言ってたよね！」と教えてくださいました。ミツバチやスズメバチの標本を見たので記憶が鮮明だったのかもしれませんが、一緒にいるだけで子どものパワーをもらえる時間でした。

高齢者の方々には病院のケアセンターで行っています。大人であっても興味があったり身近なことであれば、質問が飛び交う充実した時間となりました。

小学生、高齢の方ともに、残された回が楽しみです。

☆ご縁があって、このプロジェクトをお手伝いすることになりました。ミツバチの働きとともに仲間想いの行動に感心しています。ミツバチから学ぶ「心」もありそうな気がします。『沈黙の春』が来ないように、まち中でもできることをしていきたいと思いました。